

飲み物片手に気軽に語ろう

飲み物を片手に、専門家と科学について気軽に語り合う「サイエンスカフェ」。肩ひじを張らずに、難しい科学を身近に感じられると、全国に広まっているこの催しが、十一月から五回にわたり、川崎市川崎区富士見二の県立川崎図書館で開かれる。サイエンスカフェが開かれるのは市内で初めて。同図書館は「科学になじみがない人にも来てほしい」と、参加者を募集している。

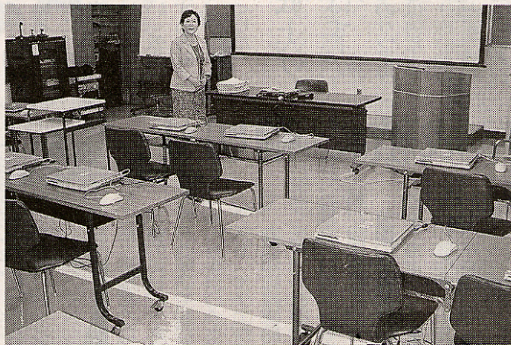
(市毛史歩子)

サイエンスカフェは一 究センターが運営する民間 講師はいずれも二十代九八八年、イギリスで始 間非営利団体(NPO) で、同NPOの理事長をまとたとされ、欧米に広 「サイエンス ステーシ 務める吉井譲・東京大 あり、日本ではこい、 ヨン」に協力を要請。理 学院理学系研究科教授は二年で急速に広まり、県 科離れを防ごうと、高校 「研究者を目指す現場の 内では横浜国大で開かれ 生に出前事業などを行っ 若手が講師を務めること たことがある。 ている同NPOから、東 で、科学をより身近に感

初の試みに、同図書館 京大の大学院生らを講師は、東京大天文学教育研 として招く。 じられるはず」としてい

市内で初のサイエンスカフェ

来5月 から 5回 シーラス ロボットや惑星などテーマ



会場となる2階ホール。当日はグループでの歓談がしやすいよう机は並べ替えられる—川崎区の県立川崎図書館で

カフェは、十一月十八 得意技を生かす 衛星・「分子でナノマシン 日から毎週土曜日午後一 ロボット・携帯電話」 はつくれるか」「太陽系 時半から同四時まで。計 「超ミクロの世界への 外に惑星を探せ」の五 五回。議題は「日本人の 旅」「脳の高次機能に迫

最初の1時間は講師が 説明し、後半は思い思い に話し合う予定。吉井教 授は「これまで開催して きたカフェでは、さまざま な質問が出た。科学に 興味のない人にも面白か ったと思ってもらえるは ず」としている。

同図書館でお茶を用意 するが、好きな飲み物を 持参することもできる。

定員は一回五十人。中 学生以上が対象で、参加 費は千円。申し込みや問 い合わせは、県立川崎図 書館産業情報課 ④(2 33) 4537へ。